

## 活線接近警報器 HXA-6型 試験成績書兼取扱説明書

### 試験成績書

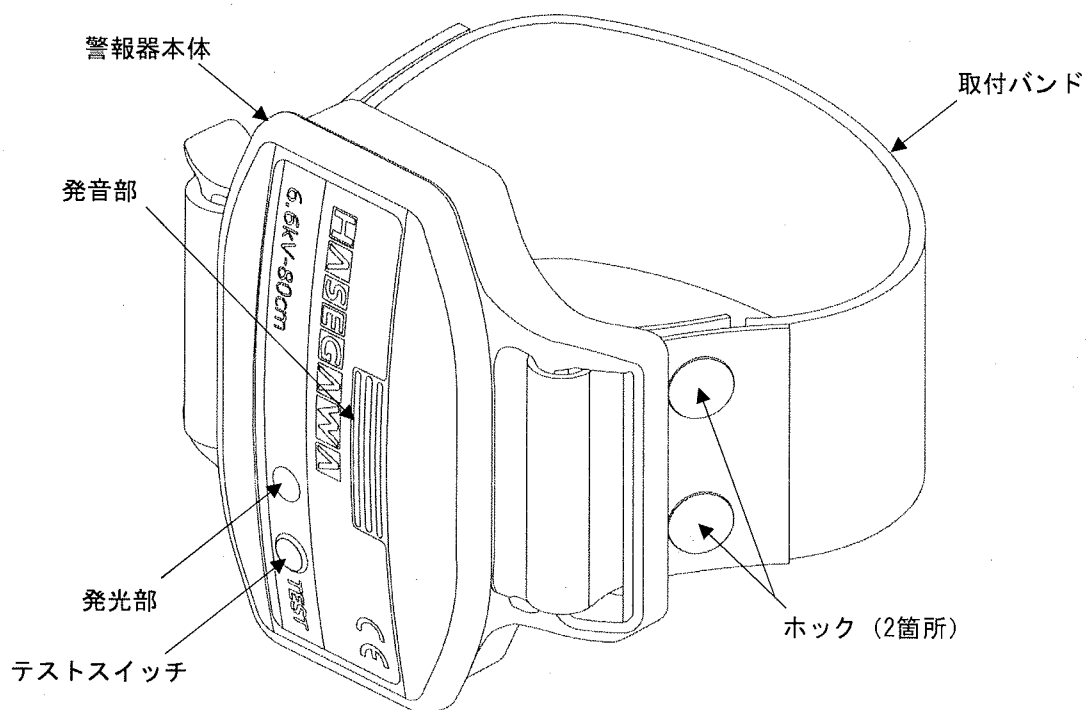
外観・構造試験	キズ、汚れ、銘板のズレや誤記のないこと	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="margin: 0;">合格</p> <p style="margin: 0; font-size: small;">長谷川電機工業株式会社</p> </div>
動作開始電圧試験	50V±5V (標準試験器にて)	
音量性能試験	65dB以上 (1m離れて)	
総合判定	合格・不合格	

### 定格






標準動作開始距離	6.6kV (対地電圧 3.8kV) - 80cm (標準状態において)
周波数	50Hz / 60Hz
音量	65dB以上
使用電池	JIS CR2032 リチウム電池 1個
使用可能温度範囲	-10℃ ~ +40℃ (表面および内部に結露のない場合)
耐水性能	IPX4相当
質量	約 45g (本体のみ)
外形寸法	(W)78×(D)82×(T)25
付属品	取付バンド



※標準状態とは弊社における試験状態であり、実際の使用環境により動作開始距離は異なる場合があります。




### 外観図











## 安全上のご注意

記号	意味
 危険	正しく使用しない場合、極度に危険な状況が起こり得て、使用者が死亡または重傷を受ける危険性が想定される注意事項が記載されています。
 警告	正しく使用しない場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある注意事項が記載されています。
 注意	正しく使用しない場合、使用者が傷害を負う危険性や本装置を損傷する恐れがある注意事項が記載されています。
	行ってはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

記号	 危険
	本器は検電器ではありません。充電体検知の補助的手段に用いるものです。「検電器」の代わりに使用したり、安全を過信しないでください。(故障・感電の原因)

記号	 警告
	上腕部に警報器本体が外側になるように装着してください。警報器本体が人体で隠れると感度が鈍くなり、動作しなくなることがあります。(感電の原因)
	分解や修理、改造をしないでください。正常に動作しなくなる可能性があります。(故障・感電の原因)

記号	 注意
	車内などの高温になる場所や直射日光に当たる場所、湿気やホコリの多い場所などで保管しないでください。(変形・故障の原因)
	寒い屋外や暖かい室内に移動したときや、湿度の多い場所では結露することがあります。この場合は、電池を抜き日陰で十分に乾燥させてください。(故障・感電の原因)
	発音部の内部には防水膜がありますので、ピン等で突かないでください。(性能の低下や、故障・感電の原因)
	本器を落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。(変形・故障の原因) 落下させてしまったときは、必ず既知の電源で正常動作することを確認してください。
	ケース割れ等の原因となりますので、薬品等で拭かないでください。(変形・故障の原因)
	長期間使用しない場合、漏液することがありますので電池を取り外して保管してください。(故障の原因)
	本器の使用温度範囲は $-10^{\circ}\text{C} \sim +40^{\circ}\text{C}$ です。範囲外で使用しますと正常に動作しない恐れがあります。(故障・感電の原因)

## 使用方法

### 1. 使用前に

- (1) 外観・構造に異常（大きな傷、割れ、著しい汚れなど）がないか確認してください。  
異常が見られる場合は使用しないでください。
- (2) テストスイッチを5秒程度押し続けて、発音・発光が変化しないことを確認してください。  
発音・発光が変化する、または動作しないときは電池を交換してください。（電池交換参照）  
※付属の電池は動作確認用です。早めの交換をおすすめします。
- (3) テストスイッチでの確認に加えて、必ず既知の電源で動作を確かめてから使用してください。  
弊社検電器チェッカー（HLA-1A、H側）や、AC100Vコードを警報器表面に当てると動作します。

### 2. 装着および使用

- (1) 取付バンドを使用して、上腕部に警報器本体が外側になるように装着してください。  
※取付バンドは消耗品です。極端に汚れた場合や伸びた場合、動作感度に影響を及ぼすことがありますので、新しいものに交換してください。（型番：DZ19003）
- (2) 電池蓋のクリップを作業服の腕章止め、ペンホルダー等を通して装着すると、位置ずれが防止できます。
- (3) 上腕部に装着した状態で、活線に接近すると、音と光で警報を発します。



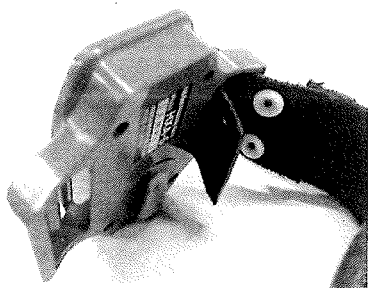
(装着外観)

### 3. ご使用上の注意

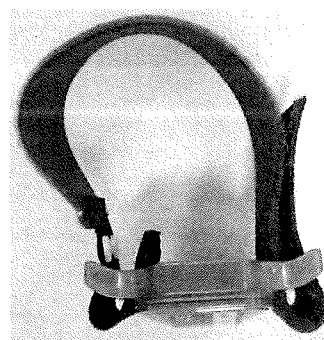
- (1) 近くに充電物が無い状態で動作し続ける場合、誘導電圧や静電気の影響が考えられます。  
警報器本体を両手の手のひらで覆い、周囲の影響を遮断したとき動作停止すれば正常です。
- (2) 接地された構造物（アングル、トランス、VCTなどの金属部）付近など、使用環境によって動作開始距離が短くなることがあります。
- (3) 本器の近くで無線機などを使用しないでください。不要動作の原因となります。

## バンド交換方法

- (1) 取付バンドのホックを外し、警報器本体から取り外してください。
- (2) 新しい取付バンドを装着する際は、ホック側はバンド取付部の外側の穴に通してから内側の穴に通してください。マジックテープ側を装着する際は、バンド取付部の内側の穴に通してから外側の穴に通してください。



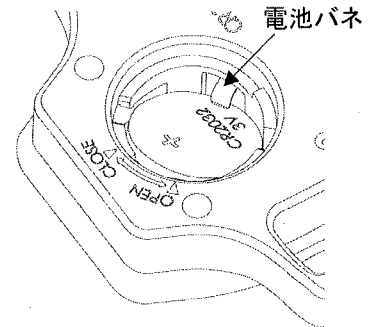
取付バンドのホックおよびマジックテープを止めてください。  
(順不同)



(バンド取付部へのバンドの通し方)

## 電池交換

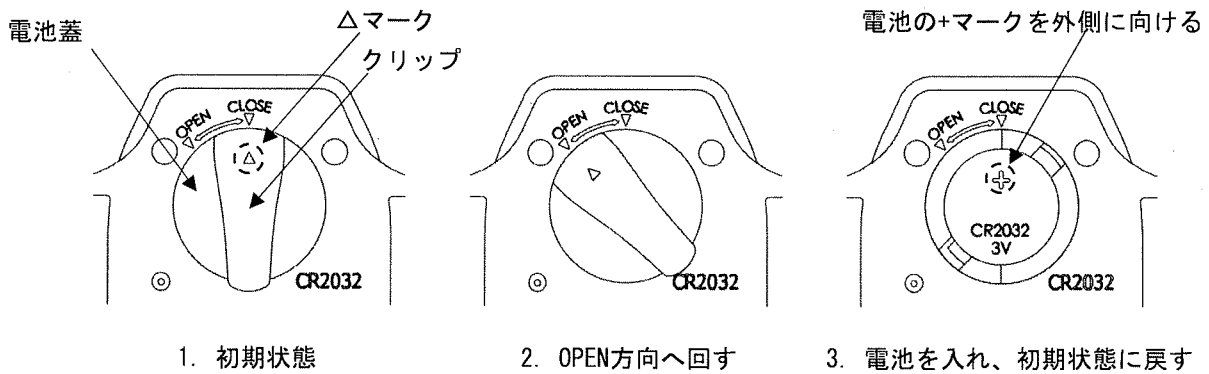
- (1) 本体裏の電池蓋のクリップを摘んで「OPEN」方向（反時計回り）に△マークが合う位置までしっかり回して外します。
- (2) リチウム電池（CR2032）1個を乾いた布等で拭き、+のマークを外側に向け、電池蓋を被せて「CLOSE」方向（時計回り）に△マークが合う位置までしっかり回して締めてください。  
※締め付けが弱い場合、内部に水が浸入し故障する恐れがあります。  
※右図のように、電池バネの下に電池を入れしないでください。
- (3) 電池の寿命はおおよそ次の通りです。



電池交換時の注意

警報動作（発音・発光）時	通算 約15時間
不動作（放置）状態	約10ヶ月

### ■電池交換方法図



## 保証について

### 1. 保証期間

保証期間はご購入後1年とします。保証期間内に代替品との交換または修理を行った場合でも保証期間の起算日は当初のご購入日とさせていただきます。

本器の分解・改造はしないでください。分解・改造により生じる一切の事故には責任を負いかねますのでご了承ください。

(注) 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

## 長谷川電機工業株式会社

TEL: 06-6429-6144

E-Mail: [infor@hasegawa-elec.co.jp](mailto:infor@hasegawa-elec.co.jp) URL: <http://www.hasegawa-elec.co.jp>